

県内就職率向上のための継続企画 「双方の県内就職支援活動にTRY！」

企画の目的

兵庫県の人口は10年連続で減少しており、とりわけ20代の若年層の転出超過数は全国47都道府県でワーストとなっており、県内就職率の向上は、目下、兵庫県の重要課題の一つとなっています。

本企画は、兵庫県立大学と連携し、就職に際して東京圏に目が向かいがちな大学生に、兵庫県内の企業の魅力を知ってもらい、ひいては県内就職を促進することを目的に、平成30年度より継続して開催しており、今回で5回目の開催となります。

企画の内容

兵庫県立大学のキャリアデザイン入門の講義において、神戸財務事務所がこれまでに培ったネットワークを活用して、兵庫県内に本店を構える魅力的な企業担当者を招聘し、地元で働く魅力等を学生に伝える企画。

今回は、1日目に線材加工製品の総合メーカーである「**日亜鋼業株式会社**」、廃棄物処理プラントの建設等を手掛ける「**株式会社タクマ**」、2日目に洋菓子の製造・販売を手掛ける「**モロゾフ株式会社**」、総合スーパーなどを展開する「**生活協同組合コープこうべ**」に協力を依頼し、自社の業務内容や地域に貢献する仕事のやりがいなどを説明した後、学生と意見交換を実施しました。

《講義概要》

■日 時：①令和3年7月7日(水)オンライン、②7月12日(月)対面

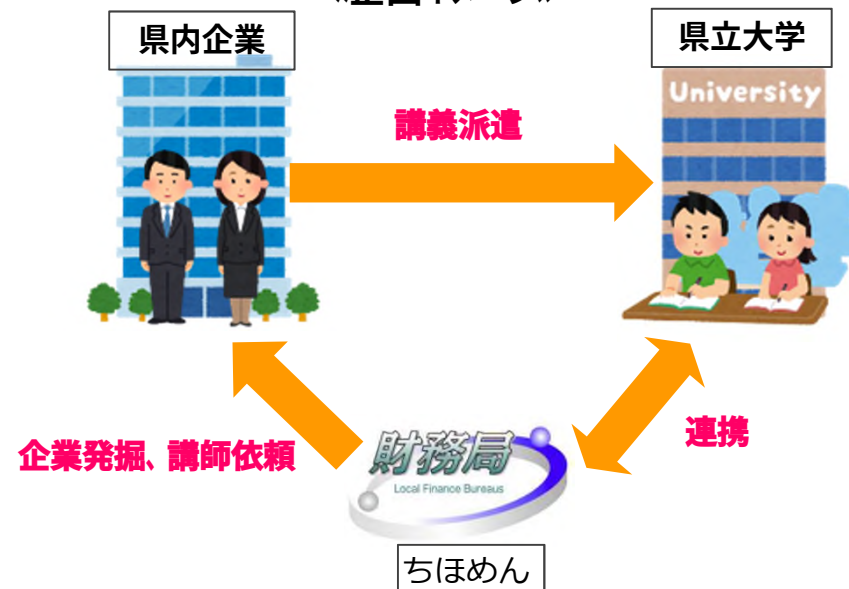
■対 象：兵庫県立大学 工学部、国際商経学部等(1回生)

■講 師：戎 多麻枝(兵庫県立大学 非常勤講師)

ワーク&ライフキャリアコンサルタントとして、行政・企業等の研修企画・運営、セミナー講師、大学でのキャリアデザイン講師、個別のキャリアカウンセリング業務などに従事。



《企画イメージ》



(参考) これまでの歩み

- 第1回(H31.1.21)
神姫バス株式会社、バンドー化学株式会社
株式会社但馬銀行、株式会社みなと銀行
<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000227766.pdf>
- 第2回(R2.1.20、R2.2.3)
神姫バス株式会社、バンドー化学株式会社
株式会社但馬銀行、株式会社みなと銀行
<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000263363.pdf>
- 第3回(R2.7.20)
株式会社神戸物産、尼崎信用金庫
<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000273290.pdf>
- 第4回(R3.1.13)
トーカロ株式会社、三ツ星ベルト株式会社
<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000290698.pdf>

当日の様様

《講義の流れ》

①ちほめんによる地方創生の説明 ⇒ ②企業担当者による業務説明 ⇒ ③学生との意見交換、質疑応答

①ちほめんによる地方創生の説明



1日目、2日目ともに、ちほめんである齊藤事務官より、当局の地方創生に関する取り組みのほか、若年層の転出超過・県内就職率の低下など、兵庫県が抱える課題について説明しました。最後に「兵庫県内にも魅力的な企業がたくさんあるので、今後のキャリア形成の参考にしてください」と学生にエールを送りました。



②企業担当者による説明

TAKUMA

学生にとってなじみのないプラント事業について、資料を使って分かりやすく紹介するとともに、当社で働く魅力について、ご自身の入社理由を踏まえて説明しました。

 日亜鋼業株式会社

当社の製品があべのハルカスなどにも使われていることなど、事業内容について学生にとって身近でイメージしやすいように分かりやすく説明しました。

《1日目（オンライン）》



《2日目（対面）》

Morozoff

市場分析から商品化までの流れについて分かりやすく紹介するとともに、仕事と育児を両立するうえで心掛けている点などについて説明しました。

 生活協同組合 コープこうべ

店舗事業、電力事業、子育て支援事業など多岐にわたる当社の業務内容を分かりやすく紹介しました。また、入社してからのモチベーションの変化などについて説明しました。



③意見交換

オンラインでコミュニケーションが取りづらい状況ではありましたが、学生からは積極的に手が挙がり、「どのような経緯で会社を知ったか」、「定時退社するために工夫している点は？」といった就職活動や1日のワークスケジュールに関するものから、経営理念や環境負荷への配慮に関するものまで、様々な質問が出されました。

それに対して、企業担当者からは、ご自身の経験や自社の特徴を踏まえながら質問に答え、オンラインという環境の中でも、戎先生の的確なフォローもあって、良い雰囲気意見交換が行われました。

学生からは、「アルバイトはした方がよいのか」、「面接で自身の強みや弱みを聞かれるが、どういった点を評価するのか？」といった将来の就職活動を見据えての質問や、「市場分析から製品化に至った具体例は？」、「株式会社と生活協同組合の違いは？」といった少し難しい質問まで多岐にわたりました。

それに対して、企業担当者からは、ご自身の企業選びや就職活動の実体験、これまでの業務経験などを踏まえながら質問に答えるなど、活発な意見交換が行われました。

イベント後の学生アンケート結果



今回の企画を通じて

多くの学生から、「**県内にも魅力的な企業があることを知れて良かった**」といった声が聞かれ、中には「**今後は自ら県内企業に関する情報を収集していきたい**」といった声も聞かれるなど、今回の企画が、学生にとって今後のキャリア形成の一助となるとともに、魅力ある県内企業の存在を知る良い機会となりました。

【学生からの具体的な声】

- ü 現在自分が志望する分野ではなくても視野を広く持つために気になる企業は詳しく調べていきたいと思いました。
- ü 今まで大阪か、東京で働くことしか考えていなくて、地元で働くことで、地域に貢献できるのもいいなって思いました。
- ü 兵庫県内には私の知らない企業がたくさんあると思うので、様々な企業について調べ、就職の幅を広げていきたい。
- ü 全然企業を知らないことに気づきました。自分から調べたり、興味の有る無しに関わらず、とりあえず情報を集めることから始めたいと思います。

企業担当者の話を聞いて

将来働く上での心構えや仕事と育児の両立に向けた取組みなど、学生が将来をイメージするうえで参考になったといった声が多く聞かれました。

【学生からの具体的な声】

- ü 福利厚生など思ったよりすごく充実していて女性の働きやすさなど魅力に感じました。
- ü 実際に出産を経験した後、復職した方の話が聞けて貴重だと思いました。
- ü 商品企画課で働かれている方のお話だったので、商品化までの流れなど具体的に知れて良かったです。
- ü ご自身のモチベーションの低下やそれをどのように捉えて改善していったのかなども聞けてよかったなと思いました。
- ü 就職にあたって、人の良さが決め手であったというお話を伺い、自分の中でも大切にしたいと思えることだったので大変勉強になりました。

最後に

今回の企画を通じて、学生の皆さまに県内の魅力的な企業を知っていただく良い機会となったと思います。今回の取組みが少しでも兵庫県の県内就職率向上に結びつけば、大変嬉しく思います。

神戸財務事務所では、イベント企画などを通じて、地方創生・地域貢献に向けた取り組みを引き続き積極的に推進していきます。

今回、御協力頂いた皆様、どうもありがとうございました。

神戸財務事務所総務課企画係